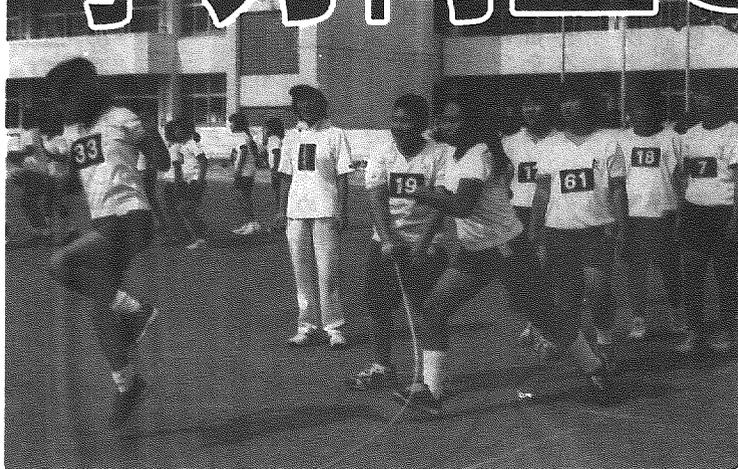


学力向上と秩序



小須戸小学校長 石井 孝



励まし合い、運動に親しむ子



発行 小須戸町中央公民館
〒956-0101
新潟県中蒲原郡小須戸町
大字小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-3041
編集 公民館報編集委員会

全国の小・中学校では新年度早々、全国標準学力テストを実施するところが多いようです。その結果を評価して児童・生徒の学習指導に生かそうというのです。

このテストの結果から、予想通りの実態が浮かび上がって来ることがあります。

「落ち着きのない子どもが多い学級は学力が低下する。」のです。

前年度の同テストでは全国平均とほぼ同じ数値を示していた学級の平均学力が、一年後に大きく下がってしまうということがあります。

この現象は様々な要因が考えられますが、一般的には子どもたちに落ちついた学習環境を提供できない学校、子どもたちの心の中に入り込めない教

これを受け、各学校では、どの子にも確かな学力の定着に向けた努力を展開している最中ですが、落ち着いた雰囲気の中で授業が進行し、「勉強が面白い。」という実感を持たせながら、学力の向上に努力したものです。

さて、教育に関する報告書に、「授業にとって不可欠なものについて」とする記述は多数ありますが、私は「教室の秩序」が一番大切だと思います。

子どもも教師も「いくつかの約束事」を守ることで、初めて子どもにとっても、教師にとっても、満足のいく授業が成立すると思います。

国立教育政策研究所が、全国の小学校五年生を対象に、授業を妨げる子の調査をした



学び合い自力解決する子

ちょこっと一言 (194)

昔から科学が好きだった。好きこそものの上手なれというが、勉強するのは不自由なことがない。

科学を勉強していてすごいなと感じることは、先人が努力の末に得た知識を簡単に取り組むことができるからだ。

現に日本の高校生ともなれば、ニュートンの三大法則なんか十八歳にして勉強する。自分たちの



かかわり合い相手を思いやる子

ところ「おしゃべりしたり、手紙を回したりする子」「先生を困らせても平気な子」「授業がはじまっても教室に入らない子」が多かったそうです。

つまり、約束事を守らないことで授業を妨害している子が多いことになりました。

ある幼稚園の園長先生の文書では、問題行動を起こしやすいうちの子どもの家庭では、食事の時の家族の座席が決まっていなくて多いと言っていることがありました。

食事の席が一定しているという事は、家庭生活の秩序であり、これが崩れては単に座席のことにとどまらず、生活全体が崩れてしまうというのです。

又、家族の誰かがいつもより早く家を出なくてはならないとき、それに合わせて家族揃って食事をしようと思わず、私はもう少し寝ているという



横川 小柳 豊さん

独力では何年かかっても解けないであろう問題が原理や法則といった道具で簡単にクリアできるのだ。

そんなふうと考えてみると、僕の子供の世代にはどんな発見があつて、どんな科学的知識を体験できるのだろうか。

当然僕の知らないこと(あるいは理解できないこと)を体験できるわけで、それは誤解を恐れずハッキリ言ってしまえば嬉しいこととさえ感じる。

自然体感 環境ツアー

小須戸分館生活部の企画による環境バスツアーも、今回で三回目となりました。キャンセル待ちがでる程の盛況で参加者の環境への関心の高さを感ずることができました。

前回とはリサイクル工場、ごみ焼却場の見学など、これからの環境について勉強しなくてはと多少気負うところもありましたが、今回は肩の力を抜いて、まるごと山古志村の自然に飛び込んでみました。

四月二十四日、この季節には珍しい雪まじりの天候の中、私達は役員職員の方からボランティアで村内を案内して頂きました。

NHKの「こころ」でも放映されたすばらしい景色・棚田・緑あざやかなアヲ林・闘牛場・うぐいすのさえずり・採れたての山ウドの香り・手彫りとしては日本一の中山隧道、そしてそこに今も残るツルハシの痕跡。

私達の五感を刺激するには充分すぎる山古志の豊かな自然と、先人の想い、心のあたたかさを感ずることができました。

楽しみながらためになる環境バスツアー未体験の方、ぜひ一度参加してみませんか。(生活部) 関口 記

各種大会の結果

◎第84回町民魚つり大会
(四月十八日(日)・親松で開催)
結果は次の通り(敬称略)
大物賞 優勝 田中伊知雄(諏訪二)
大量賞 優勝 渡辺 力(本町五)
二位 加藤敏男(蔵町三)
三位 砂井秀雄(本町二)

第27回 文化講演会

多数のご来場をお待ちしております。

テーマ ~ありのまま、そのままに生きる~
講師 真屋順子さん(女優)と 高津住男さん(俳優・演出家)
テレビ「欽どこ」の奥さん役、真屋順子が脳出血後の人生を豊かに演じ、暮らし、生きるいま。夫婦で語る感動の講演です。

日時 6月27日(日) 午後1時30分~3時
会場 中央公民館3階ホール(入場無料)



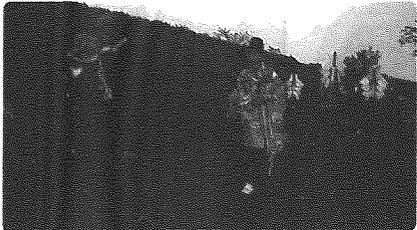
真屋順子さん 高津住男さん

山の手方面のおなさんへ
今年度も、「鎌倉」、「天ヶ沢」、「矢代田駅前」、「舟戸」方面を町のマイクロボスで送迎いたします。
※詳細については、来月号の公民館報をご覧ください。

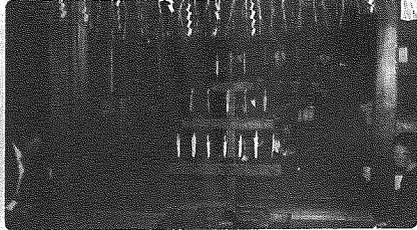
会員を募集します

「リズムであそぼ!!」
リズムの会は毎週金曜日に就園前の乳幼児を対象にリズム遊びをしています。
このリズムは子どもの体の全面発達を促すのに大変よいといわれています。お気軽に御参加お待ちしております。
日時 毎週金曜日 10時~12時
会場 中央公民館(二階・和室) 問合せ 井浦まで ☎3815802

(小向) 宮のぼり、ほら貝がびびく...



(横川浜) お祓い、家内安全

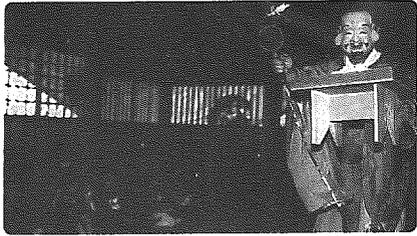


「春祭り」

4月中・下旬にかけて行われた各地区の様子を紹介します。



(新保) 春まつり、準備OK



(矢代田) 神楽舞、お菓子も撒きます

水田地区の春祭りが小雨模様
様の四月二十七日の朝六時半
から村の鎮守様「諏訪社」で
行われました。

参拝者は重箱に赤飯を詰め
て神社に集まり、それぞれ神
主さんが蓋を開けて神棚にお
供えます。

一連の神事が終わると神主
さんが、お供えした重箱から
赤飯をしゃもじでよそって、
神前のおひつに集めますが、
半分ぐらいは、おさがりとし
て参拝者にお配りします。

その返された重箱を風呂敷
に包んで、大事に持って帰る
という昔からのならわしが、
ずっと続いているのです。

神主さんは「米とか野菜を
お供えるのは、一般的でも
あるが、春祭りや秋祭りに赤
飯を供えるところは珍しい」

と、説明してくれました。
ちなみに菟玄では赤飯の上
に柿の葉をのせて、お供えす
るそうです。

いつまでも、続いて欲しい
素朴な風習だと思いました。



家内安全、幸せ願って、赤飯お供え

- 中央公民館図書室 ▲
 - 楊家将上・下 北方 謙三
 - 死の壁 養老 孟司
 - 風の罅 夏樹 静子
 - 霊ナアンテコワクナイヨ 美輪 明宏
 - 天国への手紙 製作委員会
 - 美智子さま愛と感動の 百人一首 渡辺みどり
 - 痛快! 寂聴 源氏塾
 - 痛快! 寂聴 源氏塾
- 子ども向け新刊
 - おれはティラノザウルスだ 新潟県課題図書
 - チンパンジーにありがとう 新潟県課題図書
 - ふれあい会館 ▲
 - 運のつき 養老 孟司
 - サラーム・パックス 矢田 凱夫
 - 先生わかりません 他二十冊

研修日アラカルト

☆ 作業所のみんなは今、ワ
クワクしています。なぜかと
いうと研修日に社会見学で歴
史博物館を見学して「ときめ
きラーメン」で好きなラーメ
ンを食べに行くからです。

研修日を決めたのは去年か
らで、奇数月の第二水曜日
です。その日は着丘の里の掃除
も他の仕事もお休みにして何
かしようというのを、み
んなで話し合っていました。

今までの研修日の内容は、
映画を見て食事・ときめッ
の見学・調理実習バイキング
の食べ放題・「きなせ家障害
者生活支援センター」見学な
どです。

研修日はみんな生き生きし
ています。

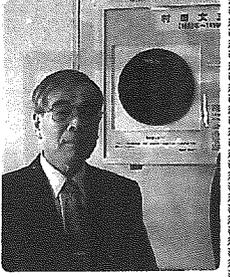


何ができるかな...?

松ヶ丘在住の、垣見壮一さん(七一歳)が、「骨董市」で村田文三氏(佐渡旧相川町出身)のSPレコード盤の「佐渡おけさ」をみつけ、名人と言われた氏の声を思い出して、購入したところ、見本と捺印があった。

この盤は氏がビクターレコード専属となった昭和五年、全国興業に際し各地の名士に宣伝のため贈呈した、初期吹き込みの数少ないものでした。垣見さんは時々古い蓄音機で聴いていた、「しっとり」と心にしみる」ような文三節を

今、同船は両津港に入る直前、この「佐渡おけさ」を流し旅情を誘っているとのこと。「天国の文三さんも故郷に向かって流れる自分の唄を聴き、さぞ喜んでいられるでしょう。」と垣見さんは、しみみりと話していました。



垣見壮一さん

「天国の文三さん」も「しっとり」

初期の「佐渡おけさ」SPレコード盤「佐渡おけさ」をみつけ、名人と言われた氏の声を思い出して、購入したところ、見本と捺印があった。

そのレコード盤は「おけさ丸」のロビーに、佐渡出身の鑄金家、宮田藍堂氏が文三先生の唄を聴き、「泣けて、泣けて涙が止まらなかった」との回想文とともに展示されている。

水田地区での春祭り

「今も変わらぬ朝御神事」

と、説明してくれました。

研修日アラカルト

☆ 三月に新潟の浅川園ギヤラリーに出店し、みんなで作った「さそり織り」や「根つけポプリ」を販売して大好評でした。

ご協力ありがとうございました。これからも、いろんな所で活躍したいと思っています。

「ふれあい電話相談」

教育相談をはじめ、いろいろな電話相談に応じます。

六月の相談日

四日(金)・十一日(金)・十八日(金)・二十五日(金)

受付時間 午後一時～五時

電話番号 三八一三三〇〇

◎おまは、言ひなぐていです。

◎秘密は、固く守ります。

「おなじのせかいへ」

日時 六月十九日(土)

会場 午前十時半～十一時

対象 ふれあい会館(和室)

読み手 おはなしばけつと

主催 中央公民館

「中学生と父親の学級」

あなたの家では、中学生と父親の会話がはずんでいますか!「楽しい家庭づくり」のお手伝いを公民館でやっています。気軽に参加してみてください。

○開催予定日(毎月第三土曜)

五月、募集と準備の月

六月から十月(年五回)

○活動の内容 みんなの希望で決めます(具体例)

(1)美術館・豪農の館めぐり

(2)アルビレックス観戦

(3)父の中学時代の話を聞く

(4)父と一緒に料理を作る

(5)ニュースポーツを楽しむ

申込み先 中央公民館 38-2234

「初心者庶民教室」

ボランテア精神のある方、点を学んでみませんか。

講師がマンツーマンで指導をします。

日時 六月九日(水)・七月二十一日(水)

午後七時半～九時

会場 中央公民館(階学習室)

対象 中学生(定員十名)

参加費 一回、二百円

申込み 坂井スイまで 38-3914

「文芸欄」

齊米を愛する大櫃彼岸寺 間野良遊

をりをりの文読み返す名残り雪 佐久間久子

花言葉幸福とある種を買ふ 五十嵐香月

遠足に会へば学年たづねをり 関根紀男

亡き子にも誕生日ありシクラメン 坂井隆恩

南国の二泊三日の島巡り 田沢 弘

湯の宿の明治の難に灯の入りぬ 渡辺信子

母と子の髪切り揃へ入学期 間野えり

墨壺に龍の彫り物春動く 高橋みどり

嫁さんの強気へ姑の方が折れ 増井都留

再起への一歩敬しい風に会う 高橋ただし

減給の話へお茶が冷めてくる 保科志枝

雪国の厳しさ知らぬスキー客 藤井春江